

科目名	Aesthetics English IV			Subject	Aesthetics English IV			
サブタイトル	Aesthetics English IV、「実践英語」を実社会で使われる状況に合わせて学び、練習し、応用する科目です。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○	◎	○	○		
教員名	ELEC			メールアドレス	yca-elec.001@・・・			
教員の略歴	国内の英語学校や中等、高等教育機関にて英語講師として従事し、日本人学習者への英語教授経験があり。ELEC 所属の英語講師として、多数の教育機関や企業などで様々なレベルの英語授業を担当する他、カリキュラムや教材の作成も担当。							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
実社会で仕事をする中で英語を使用する際に役立つ「実践英語」を、正確に、また使用される状況に合わせて的確に、わかりやすく使えるようになることを目指す。そのために必要な英語句や表現を、使用される状況に合わせて学ぶ。また、多様な協働学習を通して、英語を使う楽しみや、履修後も継続的に英語を学ぶスキルを身につけることができる科目である。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP2	ディスカッションやリーディングを通して、ビジネスの世界における文化の違いについて理解を深め、これらの違いが意味することを考察することができる							
DP1	ビジネスにおける様々な場面で使える語彙と文法を理解し、応用することができる。							
DP3	教科書の授業では、取り扱うケースにおける課題の発見、分析、解決法を学び、また、グループ・プロジェクトでは、学生は自律した学習者として、作業を進める上で発生する課題を解決することができる							
DP4	学生は、授業内でディスカッションと意見交換に取り組み、扱うテーマについて適宜相談、発表することができる							
教科書・教材								
教科書	Business Result Elementary (2nd ed.); Grant, Hughes, Leeke and Turner (Oxford University Press, 2017)							
参考文献	なし							
各自準備教材	適宜授業内で指示							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
30%	-	10%	15%	-	25%	-	20%	-
生成AIのみを使って作成されたスクリプトや視覚教材は、評価の対象になりません。 なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について授業内で解説を行います。ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。								
履修上の条件・注意								
授業内統一ルールは授業初日のオリエンテーションにて説明します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	Unit 10: Working with words	(DP1, DP2) チームで仕事をすることに関連する語彙を理解し、使用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 104	30 分
第2回	Unit 10: Language at work	(DP1, DP2) ビジネス関連の問題について具体的な情報を聞き取ることができる (比較形容詞や最上級表現を用いて比較をする、最上級表現を用いて問題について話す、ニュースに対して目標表現を用いて応答する)	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 105	30 分
第3回	Unit 10: Business communication	(DP1, DP2, DP3) 意見を求めたり、述べたりするための具体的な情報を聞き取ることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg. 104	30 分
第4回	Project Lesson 1: Presentation Introduction, Review, Unit Quiz 4	(DP1, DP2, DP3, DP4) 以前に学習したプレゼンテーションのスキルを応用することができる。プレゼンテーションのためのブレインストーミングを行い、アイデアを整理することができる。	選んだプレゼンについて調査 (リサーチ) を行い、スクリプトを完成させる	190 分
第5回	Unit 11: Working with words	(DP1, DP2) ホテルのサービスや施設に関する語彙を理解し、使用することができる (ホテルの予約に関する具体的な情報を聞くことができる、ホテルのサービスや施設に関する質問をし、答えることができる)	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 106	30 分
第6回	Unit 11: Language at work	(DP1, DP2) going to と目的不定詞を使って出張について話すことができる (出張に関する会話から具体的な情報を聞き取る、出張に関する状況でお金について話す)	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 107	30 分
第7回	Unit 11: Business communication	(DP 1, DP 2, DP 3) レストランのメニューから注文するための具体的な情報を聞き取ることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 106	30 分
第8回	Project Lesson 2: Engaging the Audience Unit 5 Quiz	(DP 1, DP 2, DP 3, DP 4) 観客をより惹きつけるテクニックを使うことができる	プレゼンテーションスキルの練習とプレゼンテーションの作成を進める	190 分
第9回	Project Lesson 3: Conclusions	(DP 1, DP 2, DP 3, DP 4) プレゼンテーションを締めくくるさまざまな方法を理解することができる。プレゼンテーションのテーマとゴールに合った結論を作ることができる。	既習のプレゼンスキルを応用させて、プレゼン発表の練習をする	30 分
第10回	Unit 12: Working with words	(DP1, DP2) 仕事のカレンダーやスケジュールに関連する語彙を理解し、使用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 108	30 分
第11回	Unit 12: Language at work	(DP1, DP2) 現在完了を使い、過去の出来事について話すことができる (ビジネス・デリバリーに関する具体的な情報を聞き取る、時間の前置詞を使い、過去、現在、未来の出来事について話す)	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 109	30 分
第12回	Unit 12: Business communication	(DP 1, DP 2, DP 3) スケジュールを立てるための具体的な情報を聞きとることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習 (Practice File のテキスト pg 108	30 分
第13回	Project Lesson 4: Presentation Final Practice, Unit Quiz 6	(DP 1, DP 2, DP 3, DP 4) プレゼンテーションの円滑な発表のためにプレゼン・スキルを実践することができる。	プレゼン発表 (リハーサル) のフィードバックをもとに修正 (改善) をし、最終プレゼン発表に備える	70 分
第14回	Project Lesson 5: Presentation Day	(DP 1, DP 2, DP 3, DP 4) 学生がプレゼンテーションを行い、聴衆からの質問に答えることができる。	プレゼンテーション自己振り返りタスクに取り組む	30 分
第15回	Units 10-12: Review	(DP 1, DP 2, DP 3, DP 4) 期末試験に向けて、10~12 ユニットで復習すべき重要な内容を確認することで、会話を力をつけることができる。	期末試験に向けて既習事項を復習し、備える	120 分